



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

25年8月14日

上場会社名 株式会社イオレ 上場取引所 東
コード番号 2334 URL <https://www.eole.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧野 諭吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレートユニット長 (氏名) 貞方 渉 TEL 050(5799)9400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,125	36.5	42	—	38	—	40	—
2025年3月期第1四半期	824	△18.6	△56	—	△55	—	△48	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.26	13.09
2025年3月期第1四半期	△18.28	—

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,820	620	34.0
2025年3月期	1,046	310	29.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 618百万円 2025年3月期 306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,494	195.6	115	—	113	—	108	—	34.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	3,148,992株	2025年3月期	2,648,992株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,722株	2025年3月期	4,722株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	3,072,841株	2025年3月期1Q	2,648,133株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費の回復を背景に緩やかな持ち直しの動きを見せている一方、海外においては、関税を含む通商政策の動向やそれに伴う世界経済、為替市場への影響、さらには物価動向の変化などを背景に、依然として先行きの不確実性が残る状況が続いています。

当社が属するインターネット広告市場においては、拡大を続けており、当社が注力してまいりましたインターネットを活用した求人広告市場につきましては、令和7年6月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.22倍（厚生労働省「一般職業紹介状況（令和7年6月分）について」）で直近および前年同月比ではわずかに減少しており、今後の回復が望まれます。

『コミュニケーションデータ事業』は、当社の優位性の一つであるデータとテクノロジーを組み合わせることで収益を上げていく事業として、『らくらく連絡網+』、『pinpoint』及び『他媒体広告』を含めており、代理店戦略の強化やアライアンスの推進を行い、データの拡充と有効活用を引き続き図ってまいりました。

『HRデータ事業』は、顧客が求人業界であり、当社が培ってきた求人広告分野におけるノウハウとテクノロジーを組み合わせる事業として、『求人検索エンジン』、『HR Ads Platform』及び『ジョブオレ』を含めており、引き続き『HRAds Platform』に社内リソースを集中させて、新規求人メディア連携やATS連携の強化を図ってまいりました。

『ペット事業』はペット関連事業として、当社が運営するWebサイトによる広告収入を上げていく事業である『休日いぬ部』、『休日グランピング部』を含めており、運営サイトの価値向上のため、Webサイトの改善およびWebマーケティングの強化を行ってまいりました。

『Web3事業』は、当社と提携しているDigital Entertainment Asset社（以下「DEA社」）が運営するWeb3ゲーム内で使用するアイテムやNFTの販売代理業、及びギルド運営を行っており、DEA社と連携した新商品の開発及び販売代理店の拡充を図ってまいりました。

『旅行事業』は、運営サイト『ポケカル』及び『ポケカル』が保有する会員への会報誌配布により顧客を獲得している旅行業であり、旅行商品の造成力の強化、催行率の向上を図ってまいりました。

その結果、『らくらく連絡網+』の2025年6月末時点の会員数は623万人、有効団体数は2万団体、『ジョブオレ』の2025年6月末時点の求人原稿数は1,010千件（前年同期比67.24%増）となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,125,677千円（前年同四半期比36.5%増）、営業利益は42,458千円（前年同四半期は56,667千円の営業損失）、経常利益は38,529千円（前年同四半期は55,039千円の経常損失）、四半期純利益は40,739千円（前年同四半期は48,410千円の四半期純損失）となりました。

また、当社は、「インターネットメディア関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、当第1四半期累計期間の事業別の販売実績を示すと、次の通りであります。

事業の名称	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	
	販売高（千円）	前年同期比（%）
コミュニケーションデータ事業	169,087	+15.41
HRデータ事業	701,397	+22.38
Web3事業	100,263	+342.23
旅行事業	48,253	△25.13
ペット事業	5,285	+4.01
その他	101,389	+696.30
合計	1,125,677	+36.52

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は1,820,428千円となり、前事業年度末に比べて773,851千円(74.0%)増加いたしました。これは主として、ソフトウェアが2,915千円減少したものの、現金及び預金が746,062千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は1,199,966千円となり、前事業年度末に比べて463,914千円(63.1%)増加いたしました。これは主として、買掛金が139,135千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は620,461千円となり、前事業年度末に比べて309,937千円(99.9%)増加いたしました。これは、資本金が135,750千円増加、資本準備金が135,750千円増加、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が40,739千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想については、現在の売上の進捗状況や経費の見通しから、2025年5月14日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2025年7月30日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度に493,222千円の当期純損失を計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。このような事象又は状況を解消するために、既存事業の売上強化を始めとする諸施策を講じる中で、『HRデータ事業』においては『HR Ads Platform』の営業強化による成長の加速、『コミュニケーションデータ事業』においては、『pinpoint』のシニア・中途採用マーケットなどの新領域への展開、『Web3事業』については主力代理店の獲得、『旅行事業』・『ペット事業』については、売上拡大による早期黒字化に注力してまいります。

また、財務基盤は安定しており、金融機関との当座貸越契約の未実行残高を160,000千円確保していることに加え、2025年4月には第三者割当増資により271,500千円を調達しており、十分な運転資金を確保できているものと判断しております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	375,712	1,121,774
売掛金	501,972	508,465
その他	43,156	37,540
貸倒引当金	△351	△559
流動資産合計	920,490	1,667,220
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,970	12,970
減価償却累計額	△2,646	△2,894
建物附属設備（純額）	10,323	10,075
工具、器具及び備品	30,820	30,820
減価償却累計額	△21,914	△22,376
減損損失累計額	△4,354	△4,354
工具、器具及び備品（純額）	4,550	4,089
有形固定資産合計	14,874	14,164
無形固定資産		
ソフトウェア	39,809	36,893
無形固定資産合計	39,809	36,893
投資その他の資産		
その他	78,095	108,900
貸倒引当金	△6,693	△6,751
投資その他の資産合計	71,402	102,149
固定資産合計	126,085	153,207
資産合計	1,046,576	1,820,428

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	273,593	412,729
未払法人税等	9,029	4,304
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
短期借入金	40,000	40,000
その他	233,426	572,928
流動負債合計	596,045	1,069,959
固定負債		
長期借入金	140,006	130,007
固定負債合計	140,006	130,007
負債合計	736,051	1,199,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,331	1,051,081
資本剰余金		
資本準備金	856,958	992,708
資本剰余金合計	856,958	992,708
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,465,720	△1,424,981
利益剰余金合計	△1,465,720	△1,424,981
自己株式	△245	△245
株主資本合計	306,323	618,563
新株予約権	4,200	1,898
純資産合計	310,524	620,461
負債純資産合計	1,046,576	1,820,428

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	824,560	1,125,677
売上原価	625,106	774,925
売上総利益	199,454	350,751
販売費及び一般管理費	256,122	308,293
営業利益又は営業損失(△)	△56,667	42,458
営業外収益		
雑収入	1,745	261
営業外収益合計	1,745	261
営業外費用		
支払利息	—	713
支払手数料	—	1,500
投資有価証券評価損	—	1,976
雑損失	117	—
営業外費用合計	117	4,190
経常利益又は経常損失(△)	△55,039	38,529
特別利益		
固定資産売却益	7,201	—
新株予約権戻入益	—	2,782
特別利益合計	7,201	2,782
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△47,838	41,311
法人税等	572	572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,410	40,739

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、インターネットメディア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)において当社は、2025年3月26日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による新株発行を行いました。2025年4月14日を払込期日とする第三者割当による500,000株の新株発行により、資本金及び資本剰余金が135,750千円ずつ増加しております。この結果、当第1四半期累計期間末において資本金が1,051,081千円、資本剰余金が992,708千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	15,861千円	3,846千円
のれんの償却額	7,484 "	— "